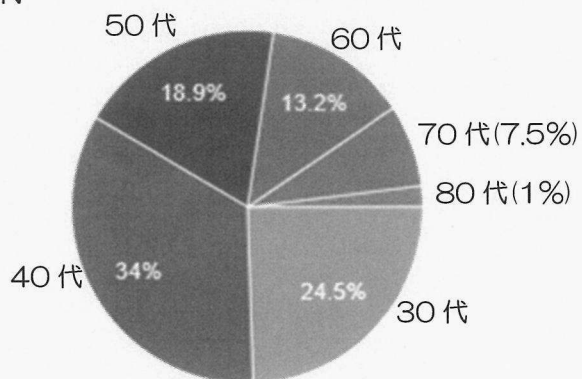


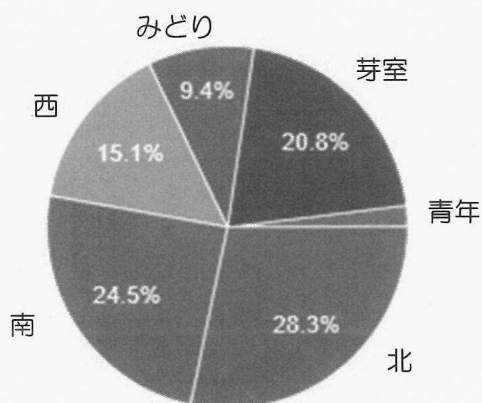
《会員アンケート(大人)》

回答数 53人

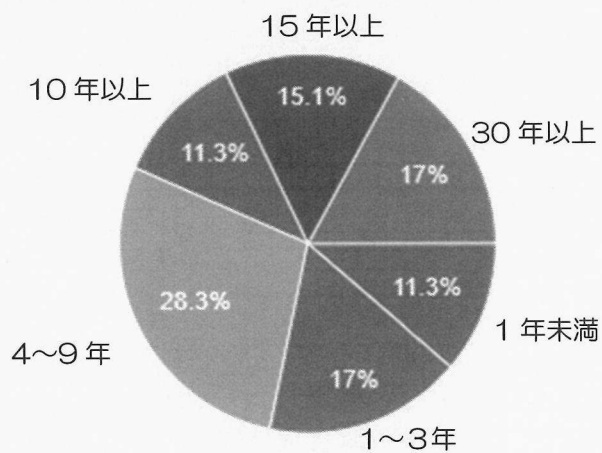
■属性
年代



所属ブロック

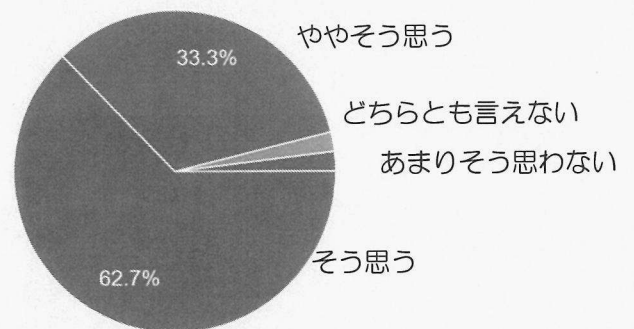


会員歴

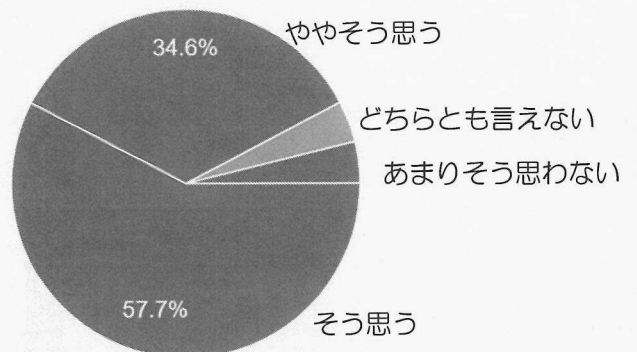


20期重点目標について

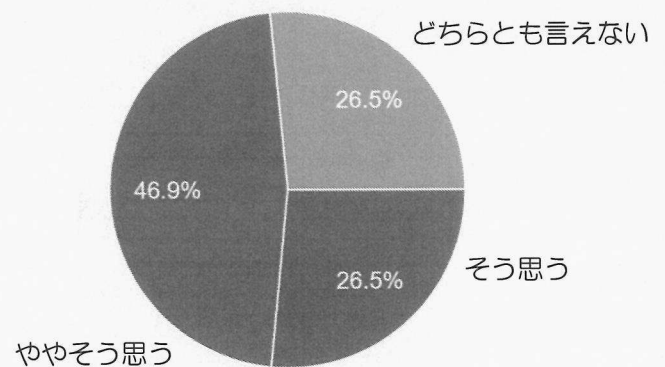
■「子どものあそびや文化芸術、体験活動を継続し、広げていく」について、達成できたと思いますか。



■「『子育てはみんなで！』地域の子どもや親が安心できる居場所づくり、つながりづくりに取り組む」について、達成できたと思いますか



■「持続可能な組織・運営のしくみを試行し、運用していく」について、達成できたと思いますか



■新しい組織・運営の仕組み《会員の声を運営に反映するための「聴き合う会」》の取り組みや、理事会体制などについてご意見感想、ご提案などお寄せください。

・聴き合う会は、毎回初めて参加の方も複数いて、1~2年目としてはよく健闘したと思う。ぶれいおんに関心を持ってくれる人が1年間で1人でも2人でも増えてくれる機会になるよう、私も頑張らなくちゃ。

・聴き合う会が発足されて、活動が行われているのはとても良いことだと思った。しかしながら参加はしていません。まだ参加したいと思えていないので、いつか時が来たら参加します。だから続けて欲しいなと思う。

・聴き合う会は試行錯誤で毎回形を変えて行っただが、会員全体への認知、定着をはかるためには、今後はある程度決まった形で行っていったほうがよいのかな、と思っている。

・このような機会があることで、参加を続ける理由を考え、またメンバーと話すことで新たな視点に気づくことができた

・「聴き合う会」は、意見の違いはあってもお互いの思いを聴き、ぶれいおんの未来にどう繋げて行くか、根気と時間のかかる取り組みですね。前回の「まんまる」を読んで、皆さんの熱い思いや、次期役員に声を上げてくださった方が居ることを知りました。ぶれいおんの素晴らしい活動を未来にも繋げてほしいので、若い方々が役員を引き受けてくださって感謝しています。私も微力ですが、できる所で支えて行けたらと思っています。

・組織運営の課題解決のために、事務局含め皆さんがとても努力しているのが素晴らしいと思います。ただ、自分という子どもたちを活動に参加させるので精一杯で、聴き合う会には参加できていません。

・なかなか参加できないけど、会員の声を聴き合える機会があるのはいいと思います

・聴き合う会、会員の話を聴き合える大事な取組みだと思います。ご飯を持ち寄りながらなど色々な趣向で会員が集まる機会がとてもいいです。小さな子どもがいるので、託児があって参加できたのは本当に良かったです。出産で仕事を辞めてから、色んな人と集まって考えを話し合うことに縁遠く感じていました。久々に皆さんのぶれいおんへの熱い想いを聞いて、自分も少し話をして、貴重な時間だなと思いました。

・会員の声を積極的に聞く体制はすごく良いと思う。ぶれいおんの理念や行動指針を会員にしてもらおう、分かってもらおうことは大事だし、それにより一体感が生まれると思う。

・まずは、やってみるから始まった新体制。出だし上々と思います。聴きあう会にてぶれいおんに期待することも見えてつあります。テーマを絞りながら、対策を話し合うことも同時に行う必要があるかな？

・全ての聴きあう会には参加できず、残念でした。聴きあう会に参加すると、「ぶれいおん愛」に溢れる方々がたくさんいて、この活動がいかに貴重で素晴らしいことかを感じ直すことができます。と同時に、本音を言い合う、聴きあう関係性を構築していくことが難しいなと感じています。

・手間と時間をかけ会員の声を聴く場を作ってくれてありがとうございます。

・聴き合う会は皆でぶれいおんのことを考え、前向きになれるとても楽しい場ではあるのですが、しゃべってその場でおしまいになってしまっているようで、会の運営の役に立っているのかな？という後ろめたさも少しあります。

・会の課題に対して聴きあう会での具体的な策を提言できるわけではないので難しいとは思いますが、聴きあう会で話されたことが会の運営にどのように反映されたのか（役に立ったのか）、それが難しければ、聴きあう会がぶれいおんの運営にどのように役に立っているのか、どこかでお話いただけるとありがたいです。

「会の活動を地域にアピールするのは会員一人ひとりの役割だね」という声から、北ブロックのよびかけでホコテンに出展したほか、「中高生と乳幼児の交流の場をつくりたい」という声を受け、来期計画「土曜にじっこ」のヒントにもなりました。また、具体的な形にならなくても、理事会や各事業部等での話し合いのプロセスや、会員の意識の醸成など様々な形で反映されています。

・「運営体制が変わって情報が入って来なくなった/運営が見えなくなった」という意見がありましたが、それは運営のことを知りたい/運営に関わりたいと思う人がどれだけ積極的に運営に関わるか次第なのではないかと思います。扉は閉ざされていないと思うので。

・2回参加しました。毎回のテーマですが、ぶれいおんの根本にかかわる大事なテーマについての話しだとは思いますが、それ以外の例えば5月に開催した人形劇の収支や参加者の感想(全て)や、まんまるに載らない活動の様子や困りごとなどを報告してもらえると嬉しいです。運営委員会がなくなり、情報が届きにくくなったと感じています。理事会についてはホームページで議事録を読むことがで

きるようになり、関心をもって毎回読ませていただいています。

人形劇の感想の全文は、ここ1年ほどHPで公開していますが、会員さんにも案内をします。また鑑賞の収支決算について鑑賞企画部内では共有していましたが、今後はまんまる等でも報告します。聴き合う会でもご質問お待ちしております。

・参加して元気もらえました。月に一回は話し合う場があったらいいと思う！

・特に6月は会員の思いを聞く良い時間になっていたのではないかと思います。普段、話せない会員との大事な交流の機会になっています。

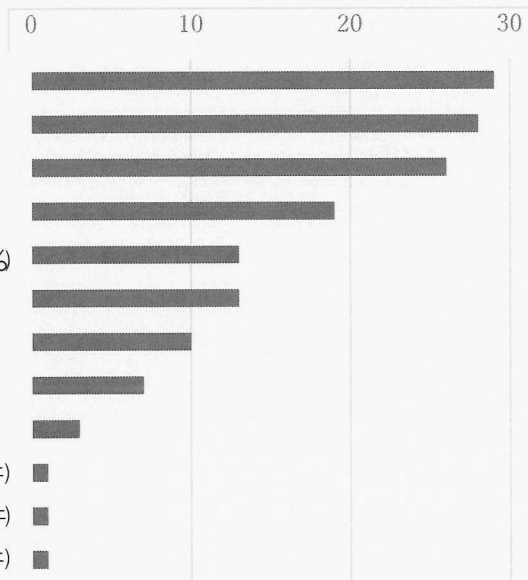
・ていねいな話し合いがされていると感じています。頑張ってください。



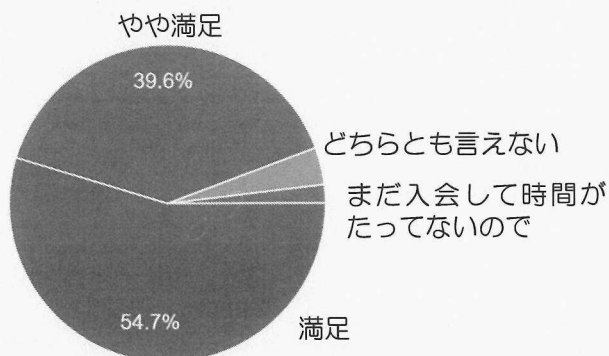
ぶれいおん活動全般について

■あなたが現在ぶれいおんに所属する目的や理由は何ですか。もっとも当てはまると思うものを3つまで選んでください。

- 関わっていききたい人や友人がいるから (29件/54%)
- 自分の子どもにあそび・体験活動を与えたいから (28件/52.8%)
- 子どもに多世代・異年齢の交流を与えたいから (26件/49%)
- 親の多世代交流、仲間づくり、居場所として (19件/35.8%)
- 社会貢献 地域の子育て環境向上のため自分も力を発揮したい (13件/24.5%)
- 舞台鑑賞のため、舞台が好きだから (13件/24.5%)
- 子育てを楽しみたいから (10件/18.9%)
- 自分自身が成長したいから (7件/13%)
- 子育てのスキルを学ぶため (3件/5.7%)
- 子どものいる環境が楽しいから (1件)
- とても大切な、地域や子ども大人にもなくてはならない団体だから (1件)
- 楽しいから (1件)



■上記で選んだ目的や理由について、あなたの全体的な満足度を教えてください。



■ぶれいおんの会員で良かったと思うことはどんなことですか。具体的なエピソードなどもあれば是非教えてください。

- ・こどもたちもおとなもみんなであそんで育ちあう地域づくりにささやかでも参加したいと思っているので。
- ・親のように自分のことを知ってくれている人がいる。それだけでちょっと味方が増えた気分！
- ・素敵な人たちとの出会い
- ・学校以外の知り合いがたくさんできること。特にウィズさん世代のお友達はなかなか作りにくいのでぶれいおんのおかげでたくさん知り合いができて嬉しい。

- ・子育てのスタート期から自分も子どもも知っている人たちがここにはいるという安心感。
- ・居場所が新たにできたこと
- ・子どもと遊ぶのがツライ時に、遊べる場所があると心強いし、気持ちの持ち方が楽になる
- ・若いひとと出会う機会がある
- ・ここ数年は長男（18 才）が大人に近づいてきて、ぶれいおんの多様な人間関係の中で豊かにすくすく育ってくれたな、と感じている。中でもやはり青年の存在は大きく、仕事や恋愛など身近なロールモデルとして色々参考にして思う。先日は長男もお泊まり会スタッフとして関わらせてもらい、小さい子のお世話(?)をする様子に、ぶれいおんの経験が身になってるなぁと感じた。ぶれいおんに感謝です！息子以外の中高生スタッフも、みんな良い子で頼りになって経験値の幅が凄く広いと思います。ぶれいおんのような異年齢多世代の人間関係はすごく貴重で大事な力になるので、幼児の子もぜひ会員は続けて欲しいです。
- ・にじっこに入会できたことです。帯広で、夫以外の大人と子育てについて話したり、相談する機会がなかなか無く、ただ新たに友達を作る気力もなく(泣)過ごしていました。元職場の先輩に子育てサークルを探してみたら？と言われ調べて初めて体験したサークルがにじっこでした。体験の日に自由に遊ぶ子どもたちの姿や、にじこの理念に共感しすぐ入会したいと思いました。その後、北ブロックのブロック会にもはじめて参加した際も子どもたちも保護者の方も気さくに声をかけてくれて親子で楽しめました。人との繋がりを感じられて、嬉しかったです。
- ・大人になってから友人ができた。子どもも学校以外のお友達、見守ってくれるおとなやちょっと大きなこどもがいることで、新たな挑戦ができていく（夏祭りのこども出店、くじ手伝いが最近ではとても楽しかったそう）
- ・前向きに頑張っている人たち、困っている人が居るとさりげなく手伝ってあげる人たちと繋がれている事
- ・会員でなかったら舞台劇を見に行かなかっただろうし、川で流れるなんてことも家族だけではしなかった
- ・従兄弟がいないので、ぶれいおんでは出会うみんなが親戚だと思っている子どもたちです。
- ・子どもたちに、家庭では提供できない遊びの体験をさせられること。芽室ブロックで子ども同士がとても仲良くしていること。
- ・一人っ子の息子が異年齢の子と遊ぶこと。親が人として成長できること
- ・帯広を離れましたが、苦しい時にぶれいおんが家族の心よりどころになりました。ここは子どもを真ん中に親子

が成長する、地域とつながるということを体現している場所です。「子どもが真ん中」というのが重要なことで、色々探しましたが、そう多くありません。ここは貴重な場所だと思います。

- ・心と身体を動かし五感を育むことができる。非認知能力の育成に繋がっている。

- ・繋がりが続いていくこと。子どもたちが普段体験できないことを経験できること。

- ・子育てに対する考え方(遊びがいかに大事か)を学べたこと。色んな素晴らしい人と交流して、親も成長できたし、家族としてホッとできる場所だと思えたこと。自分の価値観が変わったこと。

- ・子どもとの遊び方を覚えたこと。今でも時々、役立っています。

- ・子どもの居場所&人付き合いの経験の場となっています。小4の娘は、言葉づかいが少々悪く、言い方もキツイときがあり、学校の友達とはうまくいっていない模様。学校にも渋々行っています。ぶれいおんにくると、学校とはちがう友達と遊び、いろんな大人に愚痴を聞いてもらったり、学校とはちがう環境でリフレッシュしているようです。ありがたや。

- ・子育てする上で、講演会や情報を色々な人から聞けること。子どもも世代関係なく交流できる事。

- ・夏休みお泊まり会と寺子屋も参加しましたが、子ども達が、親でも先生でもない、色んな世代と交流することって本当に必要だなとおもいました。小3の息子は、普段家では進まない宿題も寺子屋では、お姉さんに付いてもらって、4 ページもできたよ！と自慢気に話してくれました。

- ・親族の居ないこの土地で、子どもたちも含めて、いつも見守ってくれる皆さんが居てくれることが、何よりのお守りです。具体的エピソードというよりも、毎回伺った際に、明るく声を掛けて下さった事務所の方々にも、いつも救われています。

- ・自分が役に立てた時。よその子が慕ってくれた時。

- ・いろいろな考えや世代の方々、それぞれ楽しみながら活動していて、刺激ももらうし、仲間がいる心強さも感じます。

- ・多世代の方に会えることが楽しみで元気をもらえます。笑顔になれる話や情報を聞けることが嬉しいです。

- ・3 年前まで、情報過多な中、漠然とした不安のある育児をしていました。周りの同世代の人と話していると、習い事や早期教育をさせないといけなのかな？と自分の子供時代と違って違和感も感じながら、「させなきゃ」という気持ちになるような状況でした。ぶれいおんに入って今の

教育や幼児の生活環境の課題を知れて、どう子育てをしていくのか軸のようなものを得てきたと感じます。

・お泊り会や行事に参加して親ではわからない我が子の成長を褒めてもらえるところ。

・娘が私や家族以外の人と楽しそうに関わっている時。にじっこ活動外でも、会員同士で誘いあって色んなところに出かけられること。

・会員で良かったと思うことは、子育て中に子どもと一緒に楽しんだ時と、子育てが終わった今とでは変化していますが、変わらないのは、ここでしか出会うことができなかった人との出会いです。具体的エピソードではないけれど、楽しい舞台を観てきたこと。子どもと観たことは宝物の時間。

・子どもも自分自身もたくさんの人との関わりが持てる事
・楽しい仲間がいる。人形劇や舞台など常広にいても観られた。

・私は北海道にはお友達が居りませんでした。ぶれいおん（おやこ劇場）で知り合えた人達と今でも心通わせていられて本当に良かったと感じています。程良いつきあい、温かい心の方が多いです。

・事務所がいつも元気で明るいこと。社会貢献に積極的なこと。

■ぶれいおんの未来に向けて、やってみたいことや願い、変わらないで続いてほしいこと、変わってほしいことなど、あなたの考えや想いを教えてください。

・次世代に繋がること。もっと多くの人に関わって貰えたら嬉しい。

・会員じゃなくても、多くの子どもたちがぶれいおんのような温かいまなざしの中で育て欲しい。会員制について、考えていきたい。

・舞台、子どもたちの交流

・遊び心を忘れない大人であること

人と関わるのが楽しいと思える空間

・多世代、異年齢の交流は変わらず、続けてほしいです。

・いろいろな世代の方々、年齢がちがう子どもたちみんなと交流できる環境がとても貴重で、どこか懐かしいような雰囲気が好きです。ぶれいおんに入会し、みなさんに優しく声をかけてもらったことがとても心に残っていますので、私も新しい会員さんがいたら同じように声をかけたりできればと思います。

・ヒトとヒトが気軽に話せる場所

・安心してやってみたいことに挑戦できる場所

・演劇や遊びなど心と身体で感じる経験

・キャンプはずっと続けて欲しいです。

・子どもたちの遊び体験は続いてほしいと思います。キャンプなどに、ぶれいおん育ちの青年たちが和気あいあいと参加しているのを見ると、我が子たちもいずれこの一員になってほしいなと思います。

・縦横斜めのつながりを大切に親も子もさらにぶれいおんでの活動を楽しみたい。年齢ごちゃ混ぜで楽しめる時間、場所であることはこれからもずっとずっと続いてほしい

・引っ越しをして、子育てはみんなで子どもたちを見守ることで、親は心に余裕が生まれて、安心してできるなと心から思いました。日本全体のことは分かりませんが、今はいろんなことに余裕がない世の中だと思います。色んな世代の人がほっとできる居場所、親も他の子どもたちを見守りながら学べる場所として、ぶれいおんはあり続けてほしいし、私もそれをできるところからこれからも支えたいし、関わっていきたい。

・AI との正しい付き合い方を身につけて欲しい。

・変わらないで欲しいこと→子どもへのあたたかなまなざし。子どもの人権を尊重しているところ。大人もユーモアあふれる人がたくさんいるところ。

・幼い頃からの多世代交流と五感をフルに使って遊べる機会

・会員になって間もないので、まだまだ知らないことばかり。これからも色々参加していきたいと思います。コマのたけちゃん最高でした。

・子どもを中心にした交流の場であることは変わらず続いてほしいですね。とはいえ、少子化と人口減少が進むなかで会員と運営費の確保に対して妙案はなく、また、単に会員が集まって交流するだけでは結局先細りしてしまうでしょうし（人は一緒にになにかをすることによって仲間になると思うので）、なかなか難しいですね。

・聞き合い会話することは変わらないでいてほしいです。

・子どもの自発的な遊びややる気を応援できるような考えは続いてほしいです

・変わらないでいてほしいことは、人と人とのつながりです。次の世代の担い手にバトンを受けとってもらってもきっとそれは大切にされていくと思っています。

・コマのタケちゃんの時の子どもたちを見て、あんなに楽しめるのかとうれしく思いました。

ぶれいおんの活動のこれからもヒントを得られた気がしましたし、家庭・地域・学校で、あそびを流行らせたいなあと思いました。私が子どもの頃は校庭で始業前にあそび、休み時間にあそび、放課後もあそんでいました。今の学校は休み時間は短く、タブレット1人1台、全国学力テ

スト、競争と管理の教育を国が進めています。もっと余裕のある、あそびのある学校、こども主体の学校になってほしいなあと願っています。だいが前、劇団風の子が子どもがあそびなくなったと感じて、あそびに焦点を当てた演目で地域をまわっていたことを思い出しました。お金も電気も使わないで、からだと頭を使って、いつでもどこでもできるあそびがいっぱいあります。あそびことをすーっとやってきたぶれいおんとかち、今までの活動の延長で更にあそびを掘り起こして交流していけたらいいなと思いました。

- ・運営に関わっている方や行事を準備している方々の仕事の多さや努力には頭が下がります。世の中の人々が、他の地域活動でも少しでも自分のためと人のために出来ることを一つでも二つでも自分からやってほしい。

- ・それはこれからの人達が考えて迷っていく事なのではないでしょうか？その時代が求める物に答えようと努力していけるのでしょうか。

- ・活動の幅の広さと深さに若い皆さんの柔軟な力に驚いている。

- ・異世代交流や困っている(?)人達にきちんと関わっていることは続けてほしい。

■《つながる》ぶれいおんでは人と人とか関わって、ゆるやかにつながることや、地域とのつながりを大切にしています。あなたが感じる「つながり」について、考えや想いなど教えてください。

- ・つながる、とは共感や信頼。違いを認めながら関わること。

- ・つながりが大事、心地よい、面白い、時にめんどくさいけどそれもまた自分が成長できるチャンス、、、と思える人ばかりじゃないけど、そう思える人が増えるといいな。あと、大人は《NO 人間関係》でも良いかもしれないけど、子どもが育つには多様な人間関係が必要ってことを理解して、会員になって貰えたらいいな。

- ・多学年や大人を交えた交流が行われていること

- ・近年ラジオ体操をやっていない町内会がたくさんある。とても悲しくなる。うちの町内会はラジオ体操をやっているが二週間だけしかやっていない。しかもラジオ体操のお知らせは、加入世帯にしか知らされない。ラジオ体操くらい、住んでいる人たちがみんなが参加できる場であって欲しいと思う。ラジオ体操がない地域の人たちの子はとても可哀想である。体験格差ってこういうことではないか。

- ・人は、つながりの中で生きているし、生きていける。様々な体験を共有することでつながりを実感できるのが、ぶれいおんのいい所。

- ・ゆるやかにつながる というところが無理がなく自然体で良いなと思います。

- ・点と点の人のつながりが、興味や関心事を伝えると広がる機会が多いなと感じます。色んな人がいるから、そして温かい心を持つ人々がいるからやってみたいの一声を伝えると実際に動かすことができる

- ・公園など遊び場に行くと誰かしらに会う。居るだけで安心できる瞬間がある。

- ・喋らなくても、みんながいる場所にいるだけで、時間を共有してつながっていくと思います

- ・顔と顔が見える関係が困った時、苦しい時の支えになると感じています。

- ・引っ越してきて芽室ブロックに入ったので、知り合いができて良かったと思います。

- ・コロナ禍を経て人と人とのつながりが薄くなった気がするけど、ぶれいおんにはそのつながりがしっかりとある

- ・日常生活で安心感を感じられること

- ・つながりは心強く感じるもの。1つの場所で子育てや地域、サークルなど多くのフィールドとつながれる場所がぶれいおん。すごいなあと感じます。

- ・外にでて、まず挨拶から。

- ・「ゆるやか」大事ですよ！「あの人、ちょっと会ってないけど元気かな？」「また話したいな、今度一緒に何かしたいな。」そんなつながりがいろんなところで生まれてほしいなと思います。

- ・ゆるやかにつながる、というテーマが大好きです。人と人との距離感って、保つのが難しいなと個人的に思います。深すぎても互いに疲れるし、浅すぎるのは不安なので。お互いの心地よい距離感で、声を掛け合ったり、助けを求めることが出来る環境や集まる人々が居ることこそ、ぶれいおんさんの光るところだと思っています。そこから、沢山の恩恵を頂いて、大きな安心感の中で活動することが出来ていることに感謝しています。

- ・ある目的に向かって一緒に何かやることで人と人はつながり仲間になるのだと思っています。

- ・考えが違って否定せず、会話し互いを認め合うとこに「つながり」が生まれる気がします。

- ・つながりは、お互いの相互関係に基づくので、お互いを大事に思い、信頼することは必要だと思います。

- ・子どもだけではなく親側も行事などで協力し『つながる』が見えるのがいい。

・子育てを通して、困った時はだれかに頼ることができたり、困っている人がいる時は少しでも何か手伝えたらと思うようになりました。そして、娘の周りにもそんな温かい環境があれば願ってます。ぶれいおんはそんな人とのつながりを学べる場所だと思います。

・自分が乗り越えなくてはいけないことが起きた時に、思い出す人がいる。すぐに会えても会えなくてもお顔やかけてもらった言葉を思い出し、そっと背中をおしてくれるような気持ちになる。

・『ここはサービスを受けるところではない』ということ。それでお泊り会では見守りに参加したりしています。私はこれも“つながり”だと思っています。我が子以外の子とのつながり、スタッフや親とのつながり。だだ預けて楽しんで来てねっただけじゃなく当日のサポートや後片付けをしながら子どもたちの様子を聞いて親もそこを楽しんで繋がるといいと思います。すべてのことを継続するにはたくさんの方の会員のつながりが必要だと思います。

・自分だけが良ければという社会は持続しないので、持続可能な世の中のために自分の出来ることは何かと想う。

■《あそび》ぶれいおんは、子どもがリアルなあそび・体験を通じて、成長発達するプロセスを大切に考え、場づくりに取り組んでいます。あなたが「あそび」について大切にしていることや、考えや想いなどを教えてください。

- ・苦手意識を持たない。何でもやってみること。
- ・その瞬間を楽しむこと
- ・子どもたちがのびのび遊べる環境が本当に少ない。ぶれいおんのイベントに参加させるだけでなく、日常からもっと自由で暇な時間を作ってあげて欲しい。子どもの『暇だ』という言葉が聴いたら、よしよし、と思って良いのだ。そこで大人の考えた遊びや習いごとを与えないで欲しい。
- ・遊びが学び
- ・誰と過ごすか 誰と遊ぶか 誰と出会うか
- ・やってみたい、という気持ち。頭じゃなくて感覚優位。
- ・子どもがその時にしたいことを自由に選ぶということを1番に考えています。
- ・やってみたい！その気持ちを大切にトライすること
- ・子どもがやりたい遊びを好きなようにやらせる。
- ・色んな人がいる中の遊びは、ルールを学んでいく成長過程(1人で遊ぶ時では出来ない)と思っています。
- ・男の子が人形遊びが好きでもいい女の子が戦隊ヒーローが好きでもいい、とらわれない
- ・大人もあそび気持ちを大切にしています。

・子どもたちには、多種多様な経験をした上で自分の好きな遊びに出会ってほしいと思います。

・親も子ども全力で遊ぶ！！を心がけている

・自ら考え遊びながら試行錯誤すること

・子どもがあそび、体験を通して感じたことを大切にしたい。感じたことが親の意図しない思いであっても、受け止めてあげられたらと思う。

・子どものやりたい思いはできるだけとめたくない。たしようにケガをしてでも身体で体験し覚えていてほしい。

・動画などで知ることも簡単にできる世の中ですが、自分でやってみてなんぼ。森にいて、自然まじかで感じる、木を切ってみる、何回もあそびで試行錯誤してみる などそういう体験、時には失敗をして成長すると思います。

・好奇心

・手や口を極力出さないこと。危ないとき以外は自由にさせること。…これが難しいんですけどね。つつい、手も口も出しちゃうんですけどね。頑張ります。

・自然で色々な体験や遊び。ネットやメディアだけでは味わえない、リアルな体験。

・子どもたちが、自ら始めたあそびは、止めずに見守って居たいと、いつも思っています。頭ごなしにダメという大人が居ない、ぶれいおんさんの環境が素敵だと思います。

・自発的であること、遊びの中で工夫があることが大事だと思います。

・誰かに指示されるのではなく、自分でやりたいことを楽しむのが「あそび」だと思っています。ただ最近はおそびのが苦手な子(例えば鬼ごっこなどで鬼決めに時間がかかり遊べないなど)や、体験が少なくて折り紙やハサミをつかうことが苦手な子が増えてる印象です(折り紙を折らずただくしゃくしゃにする…)体験や遊びの格差はかなりのあるなあと感じます。どの子も遊びが大好きだと思うので、自分で遊べるようになるまで、誰かが気長に付き合うとか背中を少々押すことが必要なのかなとも思います。

・自然との触れ合いは、大切だと考えます。遊具のない森の中で、子どもたちが草を触ったり虫を見つけたり、驚いたり、派手じゃなくてもたくさんの経験をしている様子をみているといっぱい学んでいるなと感じます。

・当たり前のことですが、好きややりたいを聞いてから参加(遊び)している。

・娘のやりたいことや興味あることを止めずにやらせてあげたいと思っているものの、家だどうしても大人の都合の子育てをしてしまいます。ぶれいおんに行った時は、なるべくダメと言わずに、やりたいことを一緒に楽しめたらと思っています。

・できる範囲で好きなことをする。なかなかできませんでしたが…

■《育ち合う》ぶれいおんでは、学び合い共感し合いながら、成長できる場を目指しています。「育ち合う」ことについて、あなたの考えや想い、感じることなど教えてください。

- ・完璧じゃない自分と誰かが関わって変化していくこと。感じることは…なんだろ。
- ・育ち合うには仲間が絶対に必要（大人も子どもも）。親はいなくても子は育つけど、友だちがいないと子は育たない、という佐々木正美さんの言葉をよく思い出しています。習いごとや学校のように競走や利害関係のない、仲間と過ごす時間と場所がぶれいおんにあります。
- ・ぶれいおんで使うに適切なワードだと思う
- ・にじっこはこの要素が強いと思うが、他の活動はどうかかなと思うところも。成長したいから何かをするのではなく、成長はあくまでも成果であって欲しい。「成長」自体が目的にはならないで欲しい
- ・育ち合うためには、対等であることが前提。上も下もない、平らな関係。お互いをリスペクトできれば、自然と学び合い、育ち合うことができるんじゃないかな？
- ・人の話を聞いて、自分の話も聞いてもらう、ことをすることでより理解が深まり考えも整理できると思います。お互い、話を聞く、する機会があると良いと思います。
- ・魅力的な講座も多く、会員同士の教え合いもとてもいいなと思います
- ・他の親子のやり取りを見て、子どもへの関わりを見直す
- ・他の人の活動を見ると、エネルギーをもらってがんばろうと思える。
- ・子どもたちは自分からはあまり人間関係を広げないタイプなので、ぶれいおんで人と過ごす時間が刺激になると思います。
- ・人間としてまだまだだけど、会員になってから親として人として育ててもらったなあと感じ感謝していますこれから他の会員さんからたくさん学び、少しは自分も誰かの役に立てたら…と思います
- ・認め合うこと
- ・自由な気持ちを気兼ねなく話し合えることで、色々な人の想いを受け止める。それが育ちにつながると思います。
- ・意見の違い、もめたり、我慢したり妥協点を見つけだしたりぶつかり合いながら友情を見つけて欲しいと思う。
- ・子育てをしているけど、ぶれいおんに入って親も子育てのこと、リアルな遊びのことを学べたし、子育てに関する社会的な課題について関心を持つようになりました。

・年齢は関係ないなと感じています。

・「育ち合う」って大人になればなるほど難しいですよね。本当に自分が育っているのかは、自信がないです。まずは「認め合う」ところから始めて、「褒め合う」「励まし合う」。この「合う」、なかなか貴重ですね。

・子どもの遊びを体験するだけでも、色々な人から親も学べると思う

・積極的に自らの強みを活かして活動している大人の方々を目にしてきて、大人も子どもも、年齢も互いに気にせず、皆が認め合いながら学ぶ環境がここにはあると思います。誰も否定せず、思い切り挑戦出来る場所って、本当に尊いなと思います。

・年上の男性として会にいと「育ち合う」というのはなかなか難しく、申し訳ありませんが、ちょっと思いつきません。

・うーむ難しいですね。成長するために何かするのではなく、好きで楽しんでやってるうちに結果成長していったのが理想ですね。

・それぞれのペースが大事なのと、育ちたい、と思う気持ちが一番大事だと思います。

・自分だけの考えでなく他の方の意見や情報交換。

・相手の意見を良く聞いて、受け止める。

芸術文化体験事業について

■「舞台鑑賞」、また「鑑賞企画部」の取り組みについて、ご意見ご感想をお願いします。

今年度は《野良犬プラス》《コマのたけちゃん》実施

・各ブロックでの取り組みに課題を感じる。

・コマのたけちゃん、久しぶりでしたがとても面白かったです。以前子どもたちが大好きだった「to R mansion」のような大道芸ステージもまた見たいです。

・なくしてはならないもの。以前のように、学童公演を復活して欲しい。

是非、保護者や地域の方から学童へ声を届けてください！鑑賞企画部もサポートします。

・とっても楽しかったです！大人も子どもも非日常を味わい、日々の生活に少しずつこの経験を溶け込ませています。コマをしたり、あの時のワクワクをおはなししたり。

・野良犬プラスさんの公演は初めて観ましたが、いろんな仕掛けがあり、子どもたちも大人もすごく楽しめました。コマのたけちゃんは、残念ながら参加できませんでしたが、大盛況で良かったですね♪

- ・上の子たちが鑑賞が苦手で、姿勢が崩れたり帰りがため、最近では参加していません。お行儀よく座って、集中して舞台を見られるお子さんたちはすごいと思います。
- ・次回は参加してみたいです。
- ・久しぶりにお当番ができた。お当番は子どもにとって貴重な体験だと思うが、日程合わなかったら数年後ということになってしまうのが残念。ブロック関係なく当番ということも将来的にはアリなのかな？と思う。

舞台鑑賞のお当番は、子どもにも大人にも味わってほしい体験なので、各ブロックでの取り組みをお願いし、必要に応じて鑑賞企画部がサポートしています。関心があればぜひ、鑑賞企画部のメンバーとして鑑賞活動を盛り上げてほしいです。

- ・こまのたけちゃんのみ参加しましたが、本当に楽しくて親も子も夢中になって鑑賞しました。多世代で同じものを見て楽しめるって素敵だなと思いました
- ・こまのたけちゃんでは、見て！やって！2倍楽しめた。
- ・年齢関係なく楽しめました。気持ちがホックリします。
- ・娘が大きくなって、舞台の内容次第では見に行くことを渋るようになり、寂しさを感じています。みんなで舞台を見ることの重要性は、身をもって知っているの、これからもやれることを探して関わっていききたいです。
- ・コマ回しのような古い手遊びに今の子どもたちも喜んでいたので印象に残りました。
- ・野良犬さん大好きでした！お当番でしたが、やっぱりみんなでお手伝いするのは楽しいなあと感じました。集まる場がなく2ブロックでお当番を担当するのは難しい部分もありましたが、看板作成など若手のお母さんも手伝ってくれ交流にもなりました！タケちゃんは正直もう観ないかなと思っていましたが、(もうコマなど回さないだろう)ワクワクしました♪コマ買ったし、家で練習してます笑。
- ・野良犬プラスのブロック担当でポスターをみんなで作った作業が会員の交流で良かったです。コマのたけちゃん最高！大人子どもも楽しめた！
- ・舞台のお当番をみて、小さかった子がお約束を話す様子が可愛いです。
- ・私は好きなのですが、あまり参加できていません。理由は、娘が演出で暗くなったりすることや拍手の音が怖い。
- ・時間帯がお昼寝の時間と重なってしまう。もう少し大きくなったら参加したいです。
- ・野良犬プラスはとても楽しい内容で、もっと多くの人に広められたら良かったです。連休という日程は、次年度は変えたほうがよいのかな？旅行を入れている人もいたので

は？学童の公演はもう難しいのでしょうか。コマのたけちゃん、学童にぴったりですね。

- ・コマのたけちゃん、近くで凄い技をみられて、しかもその後直接タケちゃんから教えてもらえて、貴重な経験でした。
- ・野良犬プラス、大変楽しく観ることができました。コマのたけちゃん、何年かぶりに見ましたが、何回目でも大変良かった。トークも上手になっていました。個人的には、もう少し鑑賞の機会が増えると嬉しいです。
- ・たけちゃんの技が一段と進化していて驚いた。

■「図書部」の活動について、ご意見ご感想をお願いします

- ・ポケット公演が大好きなのでまた行けるのを楽しみにしています！！
- ・図書部の企画のファンです。本好きさんは結構いると思うので、新しい会員さんたちにももっと図書部の存在が知られたらいいなあ。
- ・参加してみたいです。
- ・まだ参加したことがないけど、本好きなので日程があったら参加したいです
- ・すみません、参加していないのでわかりません。
- ・部員ですがなかなか参加できていませんが、良い活動だと思います。本や読書に関わる活動はぶれいおんだけにとどまらず、学校図書ボランティアや小学校、保育園、幼稚園、地域などに広がると思います。
- ・本の交流会に誘われ参加。本の紹介やそのエピソードを聞くことが楽しみの一つですと続けてほしいです。
- ・参加したことがなく、すみません。
- ・静かに、集まるとあつく語っている図書部です。今年はおはなし会のような取り組みはできなかったのですが、次年度は小さい規模でもできたらよいと思います。その時々でできることを考えて息の長い活動をしていきます。
- ・地道な活動と広報に頭が下がります。
- ・生の舞台の鑑賞を増やして欲しいと思います。
- ・子どもも親も「本離れ」が進む昨今、今のところ「本好き」でなくても、これから「本が好き」になるような企画を工夫してみてはどうでしょう？今後期待します！